



平成31年1月8日

医療政策課感染症・がん対策班
担当：山口、渡邊
内線：2466
電話：095-895-2466（直通）

インフルエンザ流行注意報の発表

平成30年第52週（12月24日～12月30日）の定点医療機関あたりのインフルエンザの患者報告数が「10.47」*となり、注意報レベルの「10」を上回りました。

患者報告者数は0歳～9歳の報告が45%、10歳～14歳が14%を占めています。

今後、大きな流行が発生する可能性が高いため、予防策を一層励行しましょう。

※報告実数：733（人）／県内定点医療機関数（70施設）＝10.47

【インフルエンザ予防策等】

～かからない～

- 外出後は石けんで手洗いをしましょう。
- インフルエンザのワクチン接種は発症予防、重症化防止に有効なことから希望される方は、かかりつけ医と十分、相談のうえ接種しましょう。（効果の出現までに2週間程度を要します）
- 体力が低下しないように十分な栄養と休養をとりましょう。
- 室内を乾燥させないようにし、また定期的に換気を行いましょう。



～うつさない～

- インフルエンザを広げないために『咳エチケット』を心がけましょう。
- 『咳エチケット』とは・・・
- 咳・くしゃみが続いたら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。
- マスクを持っていない場合は、ハンカチ、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて、1m以上離れる。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときなどはすぐに手を洗う。
- 咳・くしゃみは、手で覆わず、衣服の袖でおさえる。咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

～早期受診～

- インフルエンザにかかったなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。
- 無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

【過去5年間の注意報発令時期】

期間	長崎県	全国
2018/19シーズン	第52週 (12. 24～12. 30)	第52週 (12. 24～12. 30)
2017/18シーズン	第49週 (12. 4～12. 10)	第51週 (12. 18～12. 24)
2016/17シーズン	第3週 (1. 16～1. 22)	第1週 (1. 2～1. 8)
2015/16シーズン	第4週 (1. 25～1. 31)	第3週 (1. 18～1. 24)
2014/15シーズン	第51週 (12. 15～12. 21)	第51週 (12. 15～12. 21)
2013/14シーズン	第3週 (1. 13～1. 19)	第3週 (1. 13～1. 19)

【直近の県内インフルエンザ患者報告数(保健所管内別)】

2018/19 シーズン	長崎県										
	長崎市	佐世保市	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	壱岐	対馬	
第47週	0.66	0.24	0	0	0	0	0	0	14.0	0	
11.19～11.25	46	4	0	0	0	0	0	0	42	0	
第48週	0.59	0.12	0	0	0.1	0.13	0.25	0.6	2.33	8.67	
11.26～12.2	41	2	0	0	1	1	1	3	7	26	
第49週	1.21	0.24	0.45	0.17	1.2	0.38	2.0	0	8.33	8.67	
12.3～12.9	85	4	5	1	12	3	8	0	25	26	
第50週	2.2	3.59	1.64	1.83	0.9	2.13	2.25	0	1.33	8.33	
12.10～12.16	154	61	18	11	9	17	9	0	4	25	
第51週	7.69	11.47	3.45	8.67	4.0	15.38	1.25	0.6	4.67	19.0	
12.17～12.23	538	195	38	52	40	123	5	3	14	57	
第52週	10.47	12.47	2.73	12.33	10.9	18.88	3.5	3.2	14.0	12.33	
12.24～12.30	733	212	30	74	109	151	14	16	42	37	

※表内数値の上段は定点当りの患者報告数、下段は患者報告実数(人)

【定点医療機関からの年齢別患者報告数(人)】

	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
第47週	28	0	5	0	6	4	2	1	46
第48週	21	3	1	3	4	3	2	4	41
第49週	33	21	4	0	11	6	5	5	85
第50週	57	40	14	7	9	8	9	10	154
第51週	207	92	26	36	48	39	22	68	538
第52週	329	105	49	42	61	41	48	58	733
	45(%)	14(%)	7(%)	6(%)	8(%)	6(%)	7(%)	8(%)	

【ウイルス検出情報】

長崎県のインフルエンザウイルス遺伝子検査では、これまでに11検体中、5検体からA/H1pdm09型、5検体からA/H3型、1検体からB型を検出しています。

参考：全国の検出情報、国立感染症研究所まとめ(12月23日現在 475検体)

A/H1pdm09型：70%(334検体)、A/H3型：28%(132検体)、B型：2%(9検体)

【国立感染症研究所が定めるインフルエンザ流行レベルの目安】

【流行入り：定点値1を上回った時】

- インフルエンザ定点医療機関あたりの1週間の報告数が「1.00」以上の場合、流行入りしたことの目安

【注意報レベル：定点値10.0を上回った時】

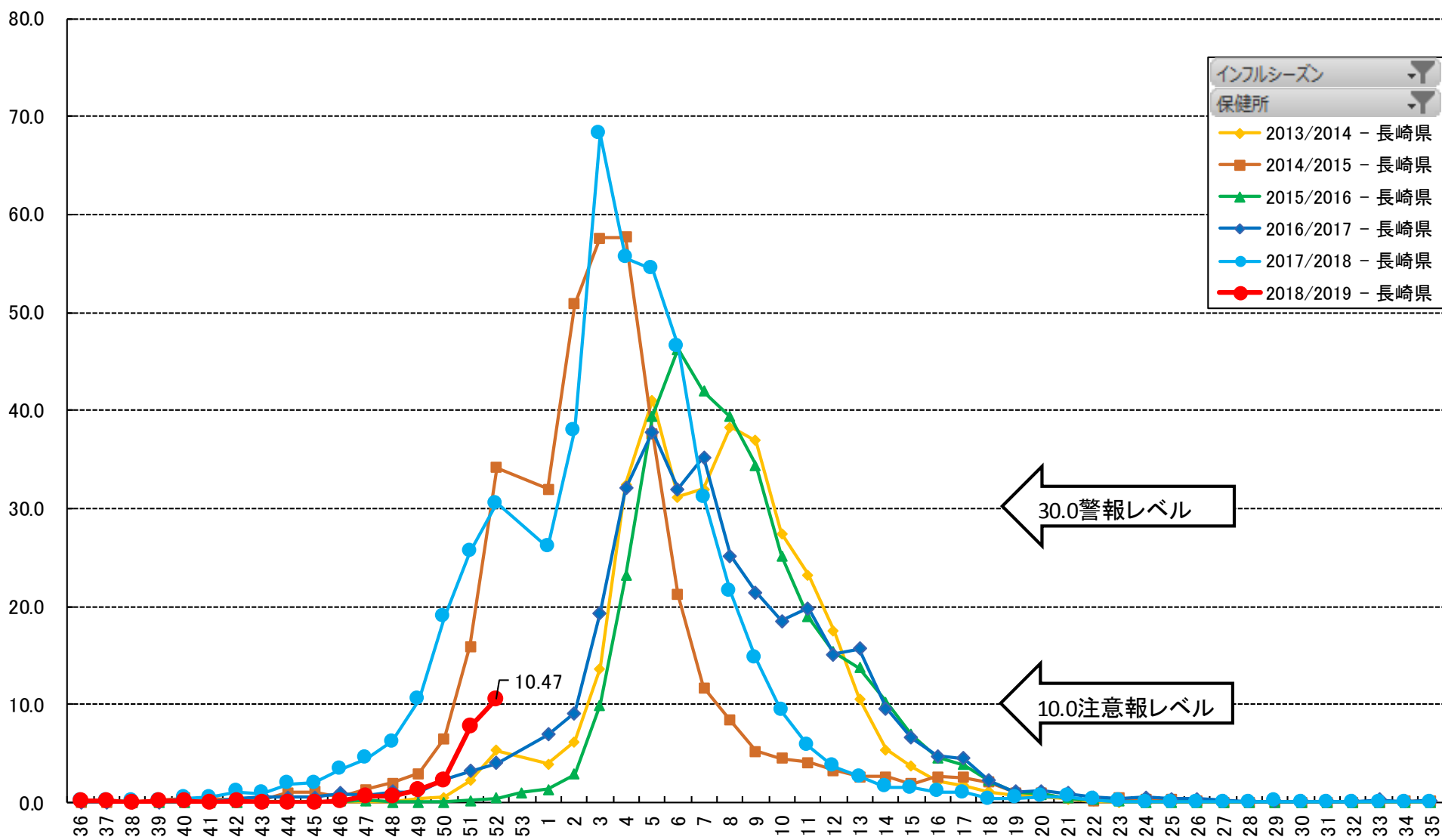
- インフルエンザ定点医療機関あたりの1週間の報告数が「10.0」以上の場合、以降4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことをあらわします。

【警報レベル：定点値30.0を上回った時】

- インフルエンザ定点医療機関あたりの1週間の報告数が「30.0」以上の場合、大きな流行の発生、または継続しつつあることが疑われることをあらわします。
- 警報は1週間の報告数が「10.0」となるまで継続し、「10.0」を下回った時点で自動的に解除されます。

長崎県インフルエンザ発生動向 (2018/2019シーズン 第52週 12月24日～12月30日 現在)

合計 / インフルエンザ定当



週